

東南アジア知財ネットワーク 2022 年度総会  
議事概要

2023 年 3 月 23 日

東南アジア知財ネットワーク事務局

(1) 開会挨拶

- 事務局（JETROバンコク事務所）より開会挨拶

(2) 2022 年度の活動報告及び 2023 年度の活動予定（事務局より）（5 分）

- 2022 年度は、現時点までに計 34 件のニュースを配信。
- 本年度は、タイ知財局の特許出願に関するファストトラック制度の開始、ベトナム改正知財法の成立、ミャンマー商標法の施行日発表（2023 年 4 月 1 日施行予定）、ベトナム特許審査ガイドライン（JICA プロジェクトの成果）の公表等の注目ニュースがあった。
- ニュース配信リストに関しては、HPに公表している事務局発表資料を参照されたい。
- 2023 年度も、ニュース配信、各種WGでの活動等による情報発信を継続して実施予定。

(3) 2022 年度の活動報告及び 2023 年度の活動予定（各 WG より）

① タイ WG

- 2022 年度活動計画を踏まえた本年度活動実績を報告。年度前半はコロナ禍の影響も残っており、計画通りの活動ができなかったものもあるが、タイWG定例会を計6回、官民知財対話（2022年10月、2023年3月）、タイ真贋判定セミナー（2023年2月）、タイ知財局特許部・意匠部との意見交換（2023年2月）等の活動を実施・参画すると共に、これら機会を通じてタイ特許法改正の進捗状況を監視し、メンバー間で情報を共有した。また、ミャンマーの知財制度設立に向けた動きも年間を通じて注視した。
- 2023 年度の活動計画も 2022 年度計画をベースとしつつ、タイ知財局主催の IP Fair や、タイ知財局向け技術説明会に関しては、チャンスがあれば SEAIPJ としての活動も行いたい。
- 上記活動や次年度計画の具体的な内容に関しては、HPに公表しているタイWG発表資料を参照。

② シンガポールWG

- 2022 年度は、①京セラ株式会社における知財の取り組み、②現地知財活動についてメンバー企業とディスカッション、③インドネシアにおける最新の知財情勢について（JICA 西山専門家）、④海外ブランドを買収した際に問題となる知財論点をテーマに外部講師（Baker & McKenzie 重本先生）を招いてWGを開催し、メンバー間で意見交換及び情報共有を行った。
- ①～③の具体的な内容に関しては、HPに公表しているシンガポールWG発表資料を参照。
- ④に関しては、他社ブランドを全てではなく一部のみ買収してライセンス契約を締結する場合（通称カーブアウト）の論点について紹介された。例えば、東南アジアの新興企業が日本ブランドを一部買収するケースにおいて、日本企業の多くはブランドに関する使用規定が詳細で厳しいため、それが原因で交渉が上手くいかないことも多い。また、クロスライセンス契約が存在する場合、対象ブランドの一部買収後に、当初のクロスライセンス契約内容の見直しも必要となる。また、ブランド買収後のライセンス契約に関して、東南アジアには知財局への登録がライセンス契約の発効要件である国もあるため注意が必要。そのほか金銭面では、国によって異なる法人税率も、ライセンス料に加えて検討対象となる。
- 2023 年度の活動計画としては、引き続き知財動向の最新情報を取得し、メンバー間で共有していく旨を報告。また、次年度は5月にINTA（International Trademark Association）、11月にAPPA（Asian Patent Attorney Association）が開催される点を紹介。

③ ベトナムWG

- 冒頭、長年ベトナム WG のリーダーを務めたヤマハ発動機株式会社の近藤様が人事異動に伴い WG を抜かれ、2023 年 3 月に開催された WG より新たに YKK 株式会社の榎田様にリーダーが交代した旨を報告し、新リーダーの榎田様よりご挨拶頂いた。

- ・ 2022年度は2回のWGを開催（2022年9月、2023年3月）し、VIPRI IP Vietnam SEAIPJ/JICAによるベトナム改正知的財産法セミナーを現地ハノイ及びオンラインのハイブリッド形式で開催した（2022年9月）。また、前述のWGでは、JICAとしてIP Vietnamに駐在されている西本専門家を迎え、特許審査基準改訂等のJICAプロジェクトの進捗に関して報告いただいた。
- ・ 2023年度の活動計画としては、改正知財法の下位規則に対するIP Vietnamへの要望提出、ベトナム科学技術省(MOST)監査局との意見交換、IP Vietnamに対する技術説明会の開催等を検討している。
- ・ 上記活動や次年度計画の具体的な内容に関しては、HPに公表しているベトナムWG発表資料を参照。

#### **（4）全体を通じての質疑応答、意見交換**

特になし。

#### **（5）事務連絡**

- ・ 事務局より、本総会の結果概要を作成次第、出席者に共有した上、ジェトロ HP で公表する旨連絡。
- ・ 次年度も年に一度、2024年3月に総会を開催する形にして、時期は各WGの幹事に相談して決定する旨連絡。

（以上）